

# 群馬県農業経営相談所

法人化

集落営農

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
農事組合法人おにし	組員 18人	群馬県藤岡市	遊休農地・耕作放棄地の解消・活用よる、地域活性化を目指した農事組合法人の設立	専門家派遣回数 2回

## 相談内容・現状課題

### ■相談内容

県境の中山間地域である当該地区では、高齢化や後継者不足による耕作放棄地の増加が懸念され、個人での営農も限界となりつつあり、地域農業を守る組織の設立と経営および地域の気候風土に合った農作物導入による遊休農地の有効活用が求められている。

新たに農事組合法人を設立し、共同で営農を開始することにより、活気ある地域づくりを目指す取組を行いたい。

### ■現状課題等

- ① 事業計画策定と経営体制の整備  
構成員確保のほか、稲麦以外の作物選定と営農計画、資金繰り、栽培・労務・販売管理等の体制づくり。
- ② 法人設立等の手続き  
農業経営法人化支援事業補助金の活用を念頭に着実に手続きを進める。
- ③ 新たな導入作物の栽培技術の習得  
各種研修や技術支援による品質の確保。

## 相談所の支援体制・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

### ■支援内容

1. 支援チームの編成  
中小企業診断士、普及指導員、JA担い手サポートセンター、農業会議等で構成。
2. 中小企業診断士等による経営検討・指導  
(1) SWOT分析により戦略を探り、将来目標の優先順位をつけ、事業計画の検討を行った。  
(2) 必要な各種規程整備、資金繰りや経営検討のための月次試算表等の運用方法、作目別損益分析と従事分量配当制採用による赤字回避、販売ルート確保とマーケティング戦略等の提案・指導を行った。  
(3) JA等へ出荷が見込める栽培品目を検討した。
3. 法人設立の手続き  
市役所、農業委員会、農業事務所等の関係機関と相談・スケジュール調整しながら、法人登記、認定農業者申請、農地利用権設定、補助金申請の手続きを進めるよう支援した。
4. 普及指導員による栽培技術指導  
県内有数の産地となっている露地ナスを中心に、支柱の立て方、整枝方法、病虫害防除などについて、JAと連携した新規栽培者講習会や個別巡回により指導を実施・継続している。

## 支援の成果・その後の状況

### ■支援の成果・その後の状況

令和元年12月に18名の仲間が結集し、水田150a、麦・野菜180aを経営する「農事組合法人おにし」を設立し、まずは黒字化による内部留保の充実を図るべく営農を開始した。

将来目標としてイチゴ、果樹、地鶏等の高技術品目の導入や加工・直売所・食事処等の6次産業化の構想がある。また、埼玉県等の平野部に農地がある組合員もいるため、80~800mの標高差を生かした特産品の開発も検討していきたい。



普及指導員による栽培技術指導

### ■コーディネーター所感

短期間で法人化と営農開始ができたが、自己資本の少ない事業開始当初においては資金繰りに十分配慮した堅実な経営が求められるため、引き続き経営状況の確認・検討を行っていく。